



農林水産
大臣賞



乙部漁港

にしぐんおとべちょう
北海道爾志郡乙部町



乙部地区

陸揚
機能
の集約

元和地区



静穏水域の有効活用
〈ナマコの増養殖場〉



海水交換施設（港内側より撮影）



ナマコ増養殖水域
（稚ナマコの放流）



水産基盤等分野 増養殖場としての機能を付加させた漁港インフラの整備

取組概要

漁業活動を支える重要なインフラである漁港において、複数漁港の機能分担を図るとともに、海水交換施設を整備することにより、静穏水域をナマコの増養殖場としての有効活用を目指した取組である。

本事例は既存ストックを有効活用することで、維持管理費用の縮減及び漁村地域の活性化を両立させた、全国でも先進的な事例である。

受賞理由

老朽化した漁港施設の修繕にあわせて、安全かつ安定的な増養殖の機能を付加することは、漁村の活性化に寄与する革新的な取組であり、これまで十分に着目されていなかった水産施設に関する先駆的な取組である。また、インフラの維持にとどまらず新たな機能を付加するという高度な活用をしており、地域への貢献度が高いことが評価された。

取組のポイント

地域経済の基幹となる漁業活動を支える漁港インフラについては、維持管理・更新費用の増大が懸念されている。

そこで複数漁港間での機能分担により、大型漁船集約による生産・輸送コスト縮減のみならず、小型船のみの利用となった水域（泊地）では必要水深が浅くなり、維持浚渫費用の縮減も可能となる。

また、機能集約により創出された漁港内の静穏水域をナマコの増養殖場として有効活用することで、水産物の安定供給及び漁業者の就労環境の改善が期待できる。

受賞者について



函館建設管理部 江差出張所 担当者

受賞者

北海道 水産林務部 水産局 漁港漁村課
北海道 渡島総合振興局 函館建設管理部

コメント

この度は栄誉ある農林水産大臣賞を賜り、深く感謝申し上げます。

本取組の後、ひやま漁業協同組合によるナマコの種苗放流も実施されており、今後の生育状況等をみながら養殖ナマコの出荷が計画されております。

北海道の基幹産業である水産業をより一層発展させ漁村のにぎわいを創出すべく、今後も漁港施設の有効活用について積極的に取り組む所存です。

団体概要

北海道における水産物の生産規模（海面漁業・養殖業）は全国1位であり、北海道として今後とも安全かつ良質な水産物の安定的な供給に資する施設整備を担って参ります。

問い合わせ先

北海道 水産林務部 水産局 漁港漁村課 事業係
011-231-4111（内28-325）
suirin.gyoko1@pref.hokkaido.lg.jp